

平成24年度 市民行政評価結果の予算への反映状況

資料番号

4

番号	事業名	課名	事業概要	市民行政評価			予算への反映状況	
				評価	24年度 予算 (千円) (a)	25年度 予算 (千円) (b)		(b)-(a)
1. 適切な役割分担の観点から、費用負担や実施主体について見直すもの								
1	農業大学校修了生 就農支援事業費	農業振興課 (農業センター)	金沢農業大学校修了生等の円滑な就農を推進するため、修了生等に対し、就農時の初期投資の経費を助成するほか、技術的な支援を行う。	見直し	10,000	9,000	△ 1,000	見直し 農地の借上、土地基盤整備、土壌改良資材にかかる補助率を支援年数に応じて10/10から8/10へ段階的に引き下げた。
2	金沢林業大学校 研修生就業支援費	森林再生課	金沢林業大学校の研修生及び修了生の円滑な就業を支援するため、研修生や修了生に対し、林業事業体での職場実習や農林産物の生産に必要な初期投資等の経費を助成する。	見直し	8,350	5,160	△ 3,190	見直し 農地・山林の借上、土地基盤整備、土壌改良資材にかかる補助率を支援年数に応じて10/10から8/10へ段階的に引き下げた。
3	母子家庭等自立 促進費	福祉総務課	ひとり親家庭等の自立促進及び生活支援のため母子家庭、父子家庭及び寡婦を対象にした相談や講習会、セミナー等の事業を実施する。	見直し	6,930	6,760	△ 170	見直し パソコン講習会の内容や在宅ワークセミナーを見直し、新たに介護職員初任者研修を開催するなど、事業内容の充実を図った。
2. 費用対効果の観点から見直すもの								
(1)長年実施しているもの								
4	潤いの道づくり 事業費	歴史建造物 整備課	城下町の景観にふさわしい、安全で快適な歩行空間を創出するため、潤いの道づくり事業計画に基づいて歩行空間のネットワーク化を図る修景整備事業を実施する。	見直し	13,000	18,000	5,000	見直し 舗装の工法の見直し等によりコストの削減を図るとともに、全体の整備計画を見直した。
5	商店街共同施設設置 助成費	商業振興課	快適な買い物空間の環境整備、商店街の活性化及び賑わいの創出のため、商店街振興組合等に対し、商店街の共同施設の設置にかかる経費を助成する。	見直し	13,863	9,533	△ 4,330	見直し 少子高齢化・安全安心など、社会課題に対応する施設の補助率を35%とし、その他の補助対象施設の補助率を35%から25%に引き下げた。
6	加賀野菜振興対策 事業費	農業振興課	農家の所得向上、本市の「食」の魅力向上のため、加賀野菜を多くの方に認知してもらい、ブランド野菜としての地位を確立することを目的とする金沢市農産物ブランド協会が行う各種事業を支援する。	見直し	3,500	3,500	0	見直し 平成25年度に実施する加賀野菜等の流通状況や知名度についての実態調査の結果を踏まえ、関係者と事業の方向性や内容について検討する。
7	グリーンウォーク 開催費	市民スポーツ 課	より多くの市民にウォーキングの楽しさを知ってもらい、健康増進を図るとともに金沢の良さを再発見してもらうため、「かなざわグリーンウォーク」を開催する。	見直し	5,000	5,000	0	見直し 北陸新幹線金沢開業を見据え、平成27年度に記念事業を開催する等、新たな取り組みを検討するとともに、他の事業との共同実施や運営体制の見直しについて検討する。

平成24年度 市民行政評価結果の予算への反映状況

番号	事業名	課名	事業概要	市民行政評価			予算への反映状況	
				評価	24年度 予算 (千円) (a)	25年度 予算 (千円) (b)		(b)-(a)
(2)対象者や実績の減少が懸念されるもの及び減少しているもの								
8	高齢者バス回数券支給費	長寿福祉課	高齢者の公共交通による外出を促進するため、高齢者が老人福祉センターなど特定の施設を利用した際に、帰路のバス回数券を支給する。	廃止	7,300	0	△ 7,300	廃止 平成24年度で廃止した。
9	まちなかパフォーマンス・シアター開催事業費	商業振興課	中心市街地への集客による賑わい創出及び活性化のため、香林坊アトリオ広場などを会場に、アマチュア・パフォーマーによるイベントを開催する。	見直し	5,000	5,000	0	見直し まちなかの一層の賑わい創出に向けて、若者や学生をコンセプトとしたより集客を高めるイベント内容へと見直しを図り、名称を「まちなかミュージックストリート」に改めた。
10	違法駐車防止対策費	歩ける環境推進課	違法駐車等を防止して円滑な交通の流れを確保するため、交通指導員、交通誘導員を配置し、違法駐車車両等への助言、啓発などを行う。	見直し	12,683	10,349	△ 2,334	見直し 平日の指導員を2名減員した。
11	SOHO支援事業費	ものづくり産業支援課	新産業育成のため、市中心部の民間ビルの1フロアを借り上げ、SOHO事業者（情報処理・映像・デザイン業等に携わる小規模事業者）の事務所スペースとして提供する。	見直し	16,434	14,423	△ 2,011	見直し ビジネスプラザ南町は平成25年9月で廃止する。また、ビジネスプラザ尾山町は、ビジネスプラザ武蔵も含めてSOHO支援にかかる施設のあり方を検討する。
12	尾張町老舗交流館運営費	商業振興課	尾張町周辺の賑わい創出と老舗文化の発信のため、尾張町商店街の空き店舗に、憩いと交流の場を開設し、各種展示などを行う。	見直し	5,200	5,200	0	見直し インテリアコーディネーターなどの助言に基づく施設案内サインや展示方法の改善、ホームページやフェイスブックを活用した情報発信の強化など、観光案内機能や広報活動の充実を図る。
13	希少伝統産業専門塾開設費	クラフト政策推進課	希少伝統産業の後継者育成を図るため、手仕事に興味・関心のある一般の市民を対象とした専門塾を開設する。	見直し	4,720	3,220	△ 1,500	見直し 対象業種を希少伝統工芸品等に重点化し、2業種の塾生の募集を廃止した。
14	食育推進費	地域保健課	健全な食生活の実践により、心身ともに健康に生き生きと生涯を送ることができるようになるため、金沢市食育推進計画（第2次）を具現化する各種の食育施策を総合的、計画的に推進する。	見直し	1,700	1,734	34	見直し 食生活改善推進員に対する養成コースやスキルアップ研修の内容をより実践的な内容とするとともに、市の事業への参加協力を依頼するなど活動の場の充実を図る。

平成24年度 市民行政評価結果の予算への反映状況

番号	事業名	課名	事業概要	市民行政評価			予算への反映状況	
				評価	24年度 予算 (千円) (a)	25年度 予算 (千円) (b)		(b)-(a)
15	玉川こども図書館普及活動費	図書館総務課 (玉川こども図書館)	読書活動を通じて子どもが幸せに健やかに成長することを目的として、子どもの読書活動を推進し、また子どもの読書に携わる人を支援するため、各種事業を実施する。	見直し	7,899	7,667	△ 232	見直し おはなし会の開催時間の変更や、体験学習の内容の充実、小学校等への出前講座の希望選択制への変更など、各種事業の充実を図る。
16	兼六園周辺文化施設情報発信システム運用費	文化政策課	兼六園周辺の県・市28文化施設の利用促進のため、施設の詳細情報やイベント案内、周辺情報などを、携帯電話向けホームページを利用して配信するシステムを石川県と共同で運用する。	見直し	2,000	2,000	0	見直し 検討 主事業者である石川県と協議のうえ、より効果的な情報発信の方法について検討する。
17	郵便局窓口サービス事業費	市民課	市民センターなどから遠く離れた地区の住民の利便性向上のために、地域の郵便局において住民票などを交付する。	見直し	1,039	1,039	0	見直し 検討 専用FAXの長期継続契約期間が満了する平成26年度を目途に、自動交付機とともにあり方を検討する。
(3) 奨励的なもの								
18	学社連携子ども文化体験事業費	生涯学習課	子ども達の伝統文化に対する理解を深め、茶道をとおして、人を思いやる気持ちを養うため、小学校の授業の一環として茶室体験学習を実施する。	見直し	300	0	△ 300	廃止 他の事業と統合し、茶道体験に加え、伝統工芸体験や金沢の偉人巡りなど、より多くの児童が希望により様々な体験ができる新たな事業を創設した。
19	町家再生活用事業費	歴史建造物整備課 (町家保全活用室)	金澤町家継承・利用活性化基本計画等に基づき、金沢固有の伝統的建築物(金澤町家)の積極的な再生と活用を図るため、町家の修復等にかかる経費を助成する。	見直し	22,000	22,000	0	見直し 斜面緑地が多い区域を補助対象外とするなど、補助対象区域の重点化を図った。
20	福祉ボランティアセンター運営費	福祉総務課	ボランティア活動を促進するため、福祉ボランティアセンターにおいて市民啓発やボランティアの養成、活動支援等の各種事業を実施する。	見直し	2,050	2,050	0	見直し 検討 新たに策定した金沢地域福祉計画2013を踏まえ、ボランティア大学校や運営を委託している金沢市社会福祉協議会と今後の養成講座等のあり方について検討する。

平成24年度 市民行政評価結果の予算への反映状況

番号	事業名	課名	事業概要	市民行政評価			予算への反映状況			
				評価	24年度 予算 (千円) (a)	25年度 予算 (千円) (b)		(b)-(a)		
3. 基金に基づく事業について持続可能性の観点から見直すもの										
21	卯辰山工芸工房 技術研修者奨励金	文化政策課	本市の伝統工芸の後継者育成を図るため、金沢卯辰山工芸工房の技術研修者に対し、奨励金を交付する。	見直し	財源となる基金に限りがある中、持続可能な制度とするため、対象者の要件や支給額の見直し、市内で活動する方や市内定住者への支援の重点化、奨励金の将来的な返還を視野に入れた奨学金形式の導入を図るなど、事業内容の見直しを検討する必要がある。	36,400	36,400	0	見直し 検討	関係団体と協議のうえ、制度の今後のあり方を検討する。
22	金沢の技と芸の 人づくり奨励金	クラフト政策 推進課	本市の伝統産業の後継者育成を図るため、伝統産業の専門的知識や技術を修得しようとする者に対し、奨励金を交付する。	見直し	財源となる基金に限りがある中、持続可能な制度とするため、後継者不足等の現状を踏まえた上で、実態に応じた奨励金の支給の重点化や、将来的な返還を視野に入れた奨学金形式の導入など、対象者、支給額や支給方法について見直しを検討する必要がある。	41,090	40,010	△ 1,080	見直し 検討	クラフト創造都市として、本市には伝統工芸の担い手を育て、将来に技を伝える責務があり、今後とも対象者、支給額や支給方法等の運用を見直ししながら、より効果的な事業運営に努める。 なお、今年度は、申請区分に関わらず、すべての新規申請者に対して面接を実施し、選考の厳正化を図ることとした。
23	伝統芸能奨励費	文化財保護課	本市の無形文化財等の後継者育成を図るため、伝統芸能伝習者及び民俗芸能伝習団体に対し、奨励金を交付する。また、無形民俗文化財である加賀万歳の後継者育成を目的とした「練習塾」に対し、講師を派遣する。	見直し	財源となる基金の現状を踏まえ、より効果的な後継者育成に向けて、各奨励金の対象者や支給内容の見直しを検討すべきである。特に、民俗芸能伝習団体への奨励金については、役割を終えつつあることから近い将来の廃止を含めて検討する必要がある。	3,960	3,720	△ 240	見直し 検討	後継者の育成が一定程度進んだため、加賀万歳練習塾は平成25年度で廃止する。また、民俗芸能伝習団体に対する奨励費は、終期の設定も含め、今後のあり方を検討する。